

再生に向けて

1. 調査委員会の設置
2. 再生に向けた取り組み進捗
3. 新取締役体制
4. 企業価値向上施策

2026年5月13日
ニデック株式会社

－注意事項－

・本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の回答には、品質に関する不適切行為の疑いについて、現時点で当社が把握している内容に基づいて記載した内容が含まれております。これらの内容は、今後の調査等によって変更される可能性があります。

・本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。これらの将来に関する内容は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。

・本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく内容や発言は、本プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、将来これが実現することを保証するものではなく、実際の結果はこれらの内容や発言、当社の現在の期待とは異なる場合があります。多数の要素がこの差異の原因となり得ますが、これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

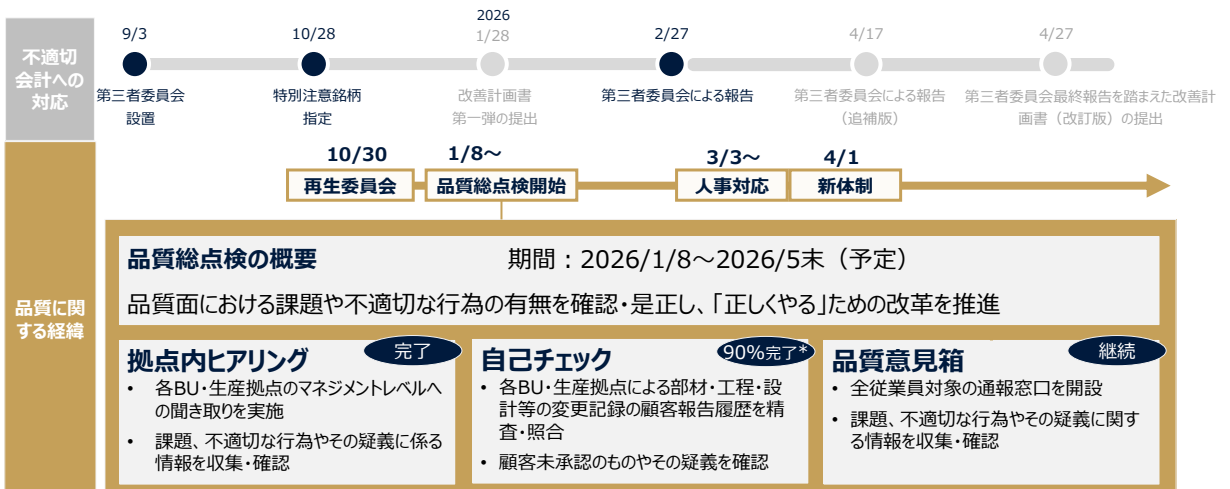
・また、当社は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく内容や発言を更新する義務を負いません。

1.調査委員会の設置

2

経緯

2025年10月30日に再生委員会内に品質WGを設置、2026年1月以降、品質総点検を推進しました



*開発及び製造拠点ベース

NIDEC CORPORATION

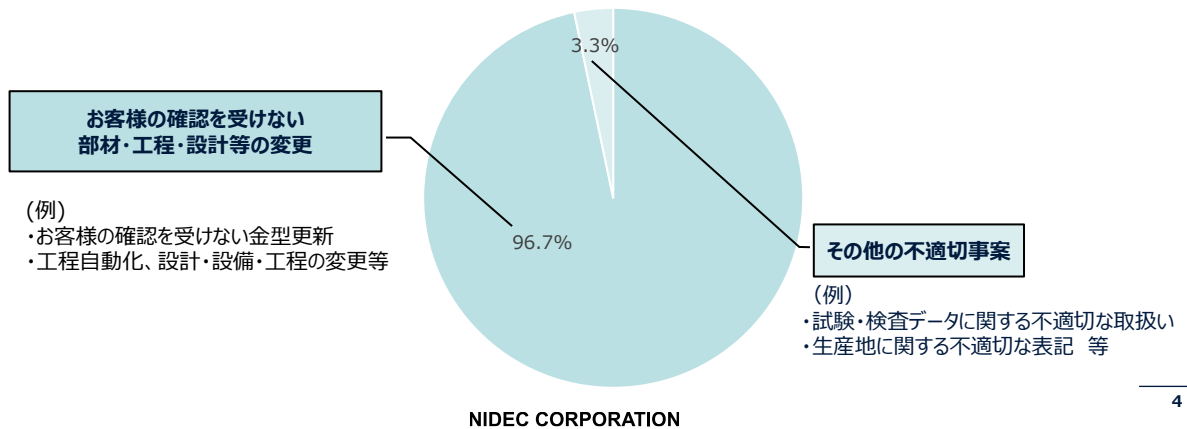
3

3

2

事案の概要 2026年5月13日時点

現時点で1,000件を超える不適切行為の疑いが確認されており、複数の事業においてお客様の確認を受けない部材・工程・設計の変更等が確認されました。
 なお、現時点において、直ちに製品機能・安全性に影響する事象は確認されておりませんが、報告すべき事項が見つかった場合は速やかに適切な対応をまいります。



事業別にみた状況

今回の調査で判明した事案に関してはお客様へのご説明、ご相談を順次開始しています。事業によって状況には違いがありますが、確認された事案に関してお客様のご協力もいただきながら、技術的な検証、品質内部管理体制の改善・見直しを進め、適切に対応をまいります。

家電・車載	IT・AI関連	産業・インフラ・機械
<ul style="list-style-type: none"> 家電・車載分野においては、部材・工程・設計等の変更についてお客様の確認を受けていない事象が複数確認されました。 ■ 家電： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 家電産業事業本部(ACIM) グローバル・アプライアンス ➢ ニデックインスツルメンツ ➢ ニデックテクノモータ ■ 車載： <ul style="list-style-type: none"> ➢ ニデックインスツルメンツ 	<ul style="list-style-type: none"> IT関連については、一定数の不適切事案の疑いが確認されていますが、既にお客様と会話を始めており、直ちに製品機能・安全性に影響する事象ではないことを確認しています。 AI冷却システムにおいては、不適切事案は確認されておりません。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業系、インフラ系、機械系の製品においては、不適切事案は確認されていません。

調査委員会の設置

複数の拠点において不適切行為の疑いが報告されていることから、外部専門家による**専門性・客観性**を確保した調査を行う必要があると判断しました。

■ 調査委員会設置の目的

- 本事案に係る詳細な事実関係の解明及び原因の究明のための客観的な調査
- 調査の結果に基づく実効的な再発防止策の提言

■ 調査委員会の構成

役職	氏名(敬称略)	所属
委員長	伊丹俊彦	弁護士、WIN法律事務所
委員	幕田英雄	弁護士、銀座中央法律事務所
委員	河合健司	弁護士、東京リベルテ法律事務所

※委員はいずれも当社と利害関係を有さない外部有識者で構成されています

8月末を目途に調査完了予定

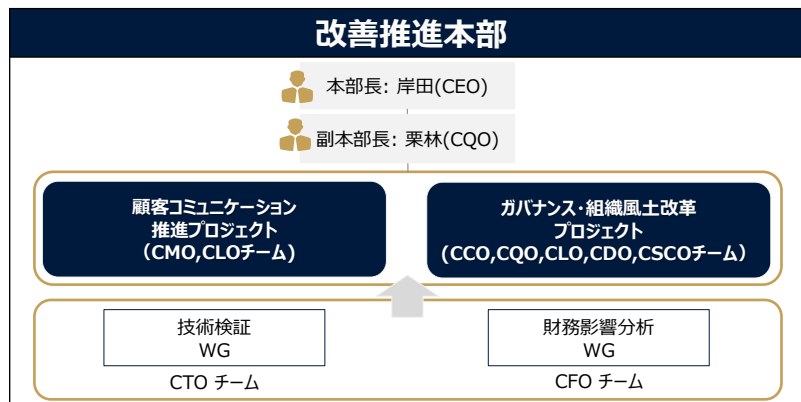
NIDEC CORPORATION

6

6

調査委員会と連携する当社の体制

- 調査委員会による**専門性・客観性**を確保した調査を実施しつつ、お客様への**タイムリー**な情報提供を可能とするため、**改善推進本部**を設置
- CxO体制のもと各責任者が連携して全社横断的な対応を行うとともに、原因分析、再発防止策の策定および実行を同時並行で推進



NIDEC CORPORATION

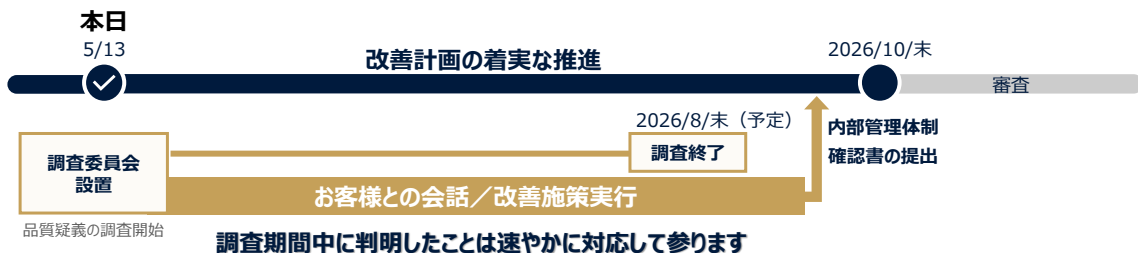
7

7

2. 再生に向けた取り組み進捗

8

再生へのロードマップ



一日も早い信頼回復と特別注意銘柄の指定解除に向け、
新体制の下で全社一丸となって邁進しております。

NIDEC CORPORATION

9

9

変革の方向性: 目指すべき姿

「風土」、「制度」、「プロセス」を見直して実効性のある仕組みを再構築し、「必ず正しく」を最優先に市場の信頼回復へ向けて対応しております

項目	旧来の姿 (Before)	目指すべき姿 (After)
コミュニケーション	トップダウン	双方向の対話
企業風土	上意下達	自由闊達・心理的安全
ガバナンス	権限集中	透明・組織的監視
組織	縦割り・サイロ	横断的・オープン
働く動機	過度なプレッシャー	やりがい・社会的意義
社内の空気感	閉塞感	希望
ゴール	短期的な「数字」	数字の先に実現される未来

NIDEC CORPORATION

10

10

施策の進捗: 風土改革

■ トップ自らが対話の先頭に

社長タウンホールミーティングの開催

社長と各社社員との直接対話を重視。

- ✓ 現場からの質問に対し、社長自ら考えを共有
- ✓ 今後は海外子会社・拠点へも順次拡大予定
- ✓ 双方向のコミュニケーションによる不信感の払拭



■ 現場主導 Culture Transformation Lab

社員の声を経営に直結

「声があげられない」文化から「言えば変わる」文化へ。ボトムアップでの提案を推進中

- ✓ 国内および海外の主要拠点でワークショップやインタビュー等
- ✓ 意見箱に寄せられる困りごとへの対応・より良い会社にする社内からの提案の推進等



■ 新たな風土定着に向けて

研修・教育プログラムの展開

全世界の経理、営業・購買、生産管理従事者に向けた継続的な教育プログラムを展開。短期的な数値目標によるプレッシャーを排除し、健全な成長を促すガバナンス体制を全拠点に定着させます。

NIDEC CORPORATION

11

11

施策の進捗: 「マネジメントチーム体制」への完全移行

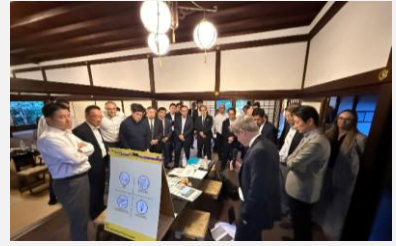
■ 新執行役員が一体となった変革の断行の誓い

役員オフサイトミーティングの開催

社長以下の全執行役員(グローバルメンバーを含む)が京都に集結し、今回の事案の振り返りと変革への思いをお互いにオフサイトで語り合い、新たなマネジメントチームでの経営体制への移行を確認しました

- ✓ ステークホルダーの皆様からの信頼回復に向けた誓い
- ✓ 「変革のステートメント」の浸透に向けた議論
- ✓ 岸田を含む新執行役員同士のチームビルディング

@ 京都 妙心寺 退蔵院



NIDEC CORPORATION

12

12

3. 新取締役体制

13

ガバナンス改革を基盤に、企業価値向上を支える新取締役体制へ

第三者委員会の報告書の指摘事項を踏まえ、改善計画に定める「取締役会の専門性の多様化による監督機能の強化」を指名プロセスの目標として設定。指名プロセスの公正性と客観性を担保する枠組みを構築したうえで、指名委員会にて取締役候補の選定を実施

第三者委員会の報告書における指摘事項（取締役体制関連）

- ・ 監査等委員／社外取締役の牽制機能の不全
- ・ 社外役員の多様性の不足と、それによる会計不正の根本原因への認識の遅れ

今回の取締役の指名プロセスの目標

改善措置：『取締役の専門性の多様化による監督機能の強化』

- ・ 達成困難な目標設定に関連するリスクや、会計不正のリスク等をより深く認識するための、**経営経験者や会計専門家を含む多様な専門性を持つ社外取締役**の選任
- ・ リスク管理面からの問題提起を十分に行うための、社内取締役としての管理系の担当執行役員を選任



より高い公正性と客観性をもった取締役の指名プロセスを担保するための枠組み

- ・ 指名委員会における委員構成の変更（岸田CEOは委員構成に含めないこととする）（2026年3月26日付）
- ・ 取締役の選任方針、選任・解任基準の改定（2026年4月1日付）

NIDEC CORPORATION

14

14

ガバナンス改革を基盤に、企業価値向上を支える新取締役体制へ（続き）

取締役のスキルマトリクスに「企業経営経験」「資本市場に対する知見」を新たなスキルとして追加。改定された選任方針・選任基準・スキルマトリクスに基づき、ニデックの成長と企業価値向上を監督し、支えるベストメンバーを選定。なお、取締役会の独立性と執行への監督を強化するため、取締役会議長は独立社外取締役の中から選定することを予定

取締役選任方針

『当社グループのグローバルな競争力の強化と事業を通じた社会課題の解決による持続的な企業価値の向上を目的とし、高い企業倫理・コンプライアンス意識をもって経営の健全性・透明性の向上に貢献できる人材を、当該ポストに関する選任基準などを踏まえ、選任するものとする。』

特に重視するスキル（社外取締役）

法務・コンプライアンス

財務・会計

企業経営経験

資本市場に対する知見



企業再建に係る経験・知見

新たなスキルとして
スキルマトリクスに追加

スキルマトリクスに
加えて考慮

指名委員会における選定プロセスの概要

A

母集団形成

数十名規模の候補者をリストアップ

B

一次評価

選任基準、独立性判断基準（社外取締役）に基づき一次評価

C

候補者面談

面談を通じ、選任基準、独立性判断基準、スキルマトリクスへの該当性、現状認識・再生への貢献意欲・コミットメントを精査

D

最終選定

各候補者の評価結果に加え、知識、経験、専門性の多様性を考慮した取締役会全体の構成を踏まえ、最終選定

NIDEC CORPORATION

15

15

取締役候補者とした理由・具体的役割（業務執行（社内）取締役）



岸田 光哉

【経歴】

- 1960年2月7日生まれ
- ソニーでの勤務経験
- 現在、当社代表取締役社長執行役員（最高経営責任者（CEO））

【役割・選任理由】

- 代表取締役社長執行役員 最高経営責任者
- 事業会社での経営経験を有し、幅広い分野での豊富な経験と実績・見識を有している。2024年に当社の社長就任後、経営の透明性向上を最優先課題に掲げ、改善計画に基づくガバナンス改革や企業風土改革を先頭にして推進している。

企業経営経験
事業戦略
技術・研究開発
国際性・グローバル経験



南井 正之

【経歴】

- 1969年3月25日生まれ
- トヨタ自動車での勤務経験
- 現在、当社常務執行役員（最高コンプライアンス責任（CCO）兼 最高人事責任者（CHRO））

【役割・選任理由】

- 取締役常務執行役員（CCO兼CHRO）
- グローバル企業の人事部門にて要職を歴任し、組織運営に関する豊富な実務経験と専門性を備えている。現在は、当社最高コンプライアンス責任者及び最高人事責任者として、透明性の高い組織基盤の確立に向けた取り組みを推進している。

法務・コンプライアンス
ガバナンス・リスク管理
国際性・グローバル
人的資本・ダイバーシティ



三宅 武志

【経歴】

- 1967年11月9日生まれ
- ソニー、三井倉庫での勤務経験
- 現在、当社執行役員（最高サプライチェーン責任者（CSCO））

【役割・選任理由】

- 取締役執行役員（CSCO）
- サプライチェーン管理及び輸出入コンプライアンスに関する国内外の実務経験と高い専門性を有している。現在は、当社最高サプライチェーン責任者として、グローバルなサプライチェーン及び輸出入コンプライアンスの強化を推進している。

法務・コンプライアンス
ガバナンス・リスク管理
技術・研究開発
国際性・グローバル経験

NIDEC CORPORATION

16

16

取締役候補者とした理由・具体的役割（監査等委員でない社外取締役）



江良 明嗣

【経歴】

- 1978年9月18日生まれ
- 元フットロック・ジャパン マネージング ディレクター兼インベストメント・スチュワードシップ部長
- 現在、フランスワーク・グループパートナー、アンドバッド 社外取締役

【役割・選任理由】

- 社外取締役
- 機関投資家の立場から数多くの企業との対話を通じ、企業価値向上に向けたガバナンス改革を主導。政府機関の委員等を歴任し、日本のコーポレートガバナンス改革に関与した実績を有している。

ガバナンス・リスク管理
資本市場に対する知見
国際性・グローバル経験
人的資本・ダイバーシティ



小泉 慎一

【経歴】

- 1948年2月29日生まれ
- 元東レ 代表取締役副社長、元DeNA 常勤監査役
- 現在、Preferred Networks 社外取締役、大林組 顧問、新光電気工業 社外取締役取締役会議長

【役割・選任理由】

- 社外取締役
- グローバルな製造業での経営管理全般に関する深い知見と豊富な経験に加え、複数企業の社外役員や取締役会議長を務め、透明性の高いガバナンス体制の構築についても実務経験を有している。

ガバナンス・リスク管理
企業経営経験
事業戦略
国際性・グローバル経験



佐久間 総一郎

【経歴】

- 1956年2月15日生まれ
- 元新日鐵住金（現日本製鉄）代表取締役副社長
- 現在、コカミルタ 社外取締役、日鉄ソリューションズ 顧問、JX金属 社外取締役（監査等委員）

【役割・選任理由】

- 社外取締役
- 鉄鋼メーカーの経営陣として、法務、内部統制・監査といったガバナンス部門を統括し、大規模な組織再編や、経営課題への対処についても豊富な実務経験を有している。

法務・コンプライアンス
ガバナンス・リスク管理
企業経営経験
事業戦略



西浦 裕二

【経歴】

- 1953年1月3日生まれ
- 元アックスパートナーズ 日本代表、元アクサ生命保険 取締役会長、元アクサ損害保険 取締役会長、元三井住友トラストクラブ 代表取締役会長
- 現在、LIXIL 社外取締役 取締役会議長

【役割・選任理由】

- 社外取締役
- グローバルなコンサルティングファームの日本代表や、大手金融・保険会社の会長職を歴任し、多くの企業再生を主導するなど、財務分析・M&A、リスク管理、マーケティング等、企業経営に関する豊富な経験と見識を有している。

財務・会計
ガバナンス・リスク管理
事業戦略
人的資本・ダイバーシティ



山本 良一

【経歴】

- 1951年3月27日生まれ
- 元J.フロントリテイリング 取締役兼代表執行役社長
- 現在、大同特殊鋼 社外取締役、J.フロントリテイリング 特別顧問

【役割・選任理由】

- 社外取締役
- 小売業界において代表取締役社長として、長年にわたり企業経営の舵取りを担い、一貫して透明性の高いガバナンス体制の構築や取締役会長の活性化を牽引し、企業の監督機能向上と持続的成長の両立を主導した実務経験を有している。

ガバナンス・リスク管理
企業経営経験
事業戦略
環境・社会

NIDEC CORPORATION

17

17

取締役候補者とした理由・具体的役割（監査等委員である社外取締役）



山崎 武

【経歴】

- 1960年11月7日生まれ
 - 元日立製作所 戦略企画本部経営企画室長、元日立LGデータストレージ 常務CSO
 - 現在、日立リアルエステートパートナーズ 常勤監査役
- 【役割・選任理由】
- 社外取締役（常勤監査等委員）
 - グローバルな製造業での長年の経営戦略の専門性と経験に加え、拠点数の多い企業での監査役として、組織の効率的な監査体制の構築と運用を主導するなど、高い識見と豊富な経験を有している。

ガバナンス・リスク管理
事業戦略
技術・研究開発
人的資本・ダイバーシティ



天野 秀樹

【経歴】

- 1953年11月26日生まれ
 - 元あずさ監査法人副理事長（監査統括）
 - 現在、セイコーグループ 社外監査役、みずほリース 社外監査役
- 【役割・選任理由】
- 社外取締役（監査等委員）
 - 長年にわたり公認会計士として、大手監査法人の要職を歴任し、財務会計及び内部統制に関する専門知見と豊富な実務経験を有し、複数企業にて社外取締役や社外監査役を務めた実績がある。

法務・コンプライアンス
財務・会計
ガバナンス・リスク管理
国際性・グローバル経験



岸波 みさわ

【経歴】

- 1972年11月4日生まれ
 - 元ゴールドマン・サックス証券 投資銀行部門資本市場本部 シンジケート部長、元UBS証券 投資銀行本部 エグゼクティブ・デレクター
 - 現在、ダイワホールディングス 社外取締役
- 【役割・選任理由】
- 社外取締役（監査等委員）
 - 金融機関の投資銀行部門において、財務戦略・資本政策等に関するアドバイザー経験に加え、資本市場や企業再建に関する専門知見を有している。

財務・会計
資本市場に対する知見
国際性・グローバル経験
人的資本・ダイバーシティ



長谷川 充弘

【経歴】

- 1953年11月25日生まれ
 - 元広島高等検察庁検事長、元証券取引等監視委員会 委員長
 - 現在、瓜生・糸賀法律事務所 特別顧問
- 【役割・選任理由】
- 社外取締役（監査等委員）
 - 検事として広島高等検察庁検事長等の要職を歴任したほか、証券取引等監視委員会委員長として、市場規律維持や財務報告の信頼性確保、内部統制の検証に関する専門知見と豊富な実務経験を有している。

法務・コンプライアンス
財務・会計
ガバナンス・リスク管理
資本市場に対する知見

非改選対象（ご参考）



吉井 浩

【経歴】

- 1965年12月23日生まれ
 - 元財務省
 - 現在、当社社外取締役常勤監査等委員
- 【役割】
- 社外取締役（常勤監査等委員）
 - 長年にわたり財務省や国税庁において要職を歴任し、経済、財政、税務行政の各分野における極めて豊富な実務経験と高い識見を有している。現在は、当社監査等委員として経営課題の把握とガバナンス体制の健全化に尽力している。

法務・コンプライアンス
財務・会計
ガバナンス・リスク管理
環境・社会

NIDEC CORPORATION

新取締役体制のスキルマトリクス

- 新たなスキルとして「企業経営経験」「資本市場に対する知見」をスキルマトリクスに追加
- 社外取締役については、「法務・コンプライアンス」「財務・会計」「ガバナンス・リスク管理」「企業経営経験」「資本市場に対する知見」を充足する候補者を厳選し、バランスも鑑み選定。中長期的な企業価値向上を実現するため、スキルだけでなく、市場規律の尊重、ステークホルダーとの対話の重視、高い企業倫理・コンプライアンス意識を備えた方を候補として選定
- 当社の現況に鑑み、社外取締役の選定にあたっては、スキルマトリクスに加え、企業再建に係る経験・知見も併せて考慮している

氏名	役職	新任／再任	取締役に求める専門性と経験（最大4つ）										(参考) 企業再建の経験・知見		
			法務・コンプライアンス	財務・会計	ガバナンス・リスク管理	企業経営経験	資本市場に対する知見	事業戦略	技術・研究開発	国際性・グローバル経験	人的資本・ダイバーシティ	環境・社会			
岸田 光哉	代表取締役社長執行役(CEO)	再任				○		○	○	○					-
南井 正之	取締役常務執行役員 (CCO兼CHRO)	新任	○		○					○		○			-
三宅 武志	取締役執行役員(CSCO)	新任	○		○				○	○					-
江良 明嗣	社外取締役	新任			○		○			○	○				○
小泉 慎一	社外取締役	新任			○	○		○		○					○
佐久間 総一郎	社外取締役	新任	○		○	○		○							○
西浦 裕二	社外取締役	新任		○	○			○							○
山本 良一	社外取締役	新任			○	○		○						○	○
吉井 浩	社外取締役(常勤監査等委員)	-	○	○	○									○	
山崎 武	社外取締役(常勤監査等委員)	新任			○			○	○				○		○
天野 秀樹	社外取締役(監査等委員)	新任	○	○	○					○					○
岸波 みさわ	社外取締役(監査等委員)	新任		○						○	○				○
長谷川 充弘	社外取締役(監査等委員)	新任	○	○	○										○

NIDEC CORPORATION

4. 企業価値向上施策

20

Re-Definition 宣言

モノづくり技術とあきらめない心で、
世界と向き合い、共に前進する。

Principles

正しさと誠実さ
常に倫理的で、誠実な仲間と

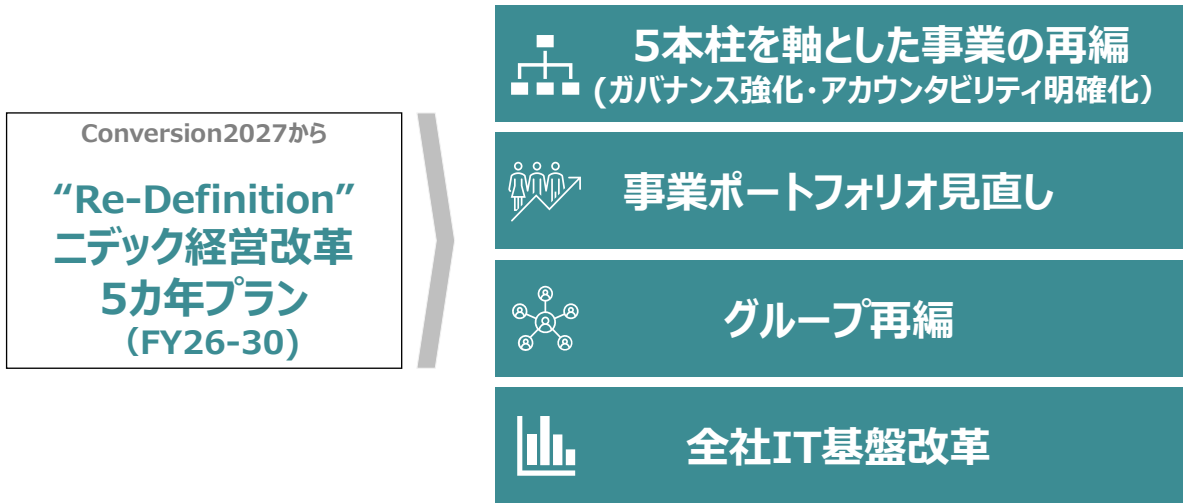
夢と誇り
誇りを胸に、社会、未来の夢を叶え

多様性と持続可能性
世界中の多様な人々と互いを尊重し、
持続可能な未来を創る

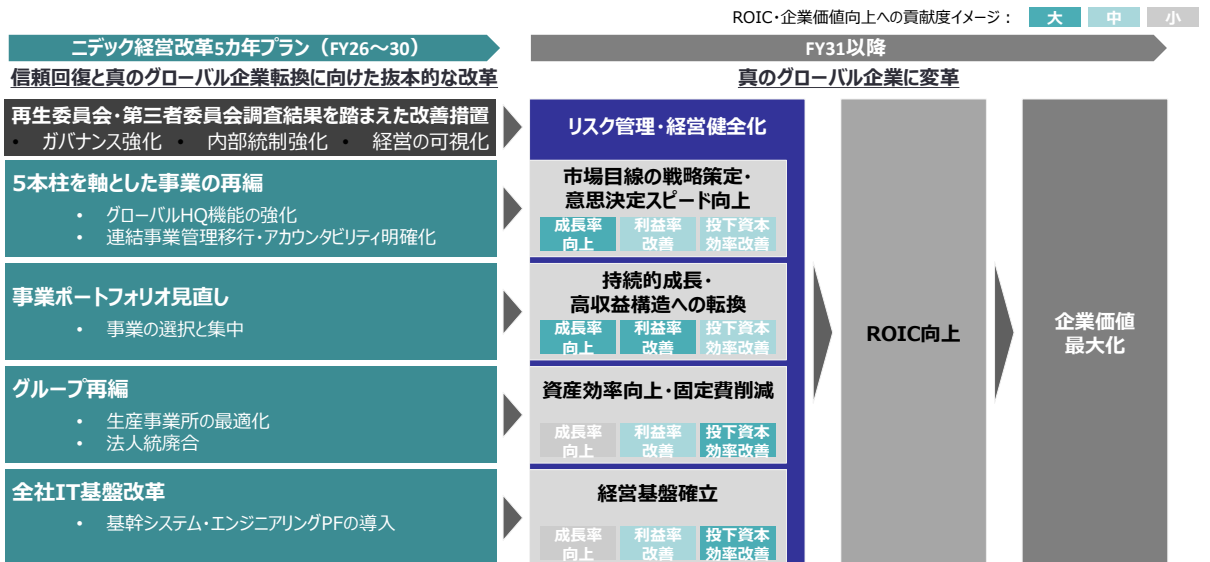
本当の第二創業へ。 **Nidec**

21

正しい経営の再構築を起点に、高収益構造への転換と真のグローバル企業への変革を実現

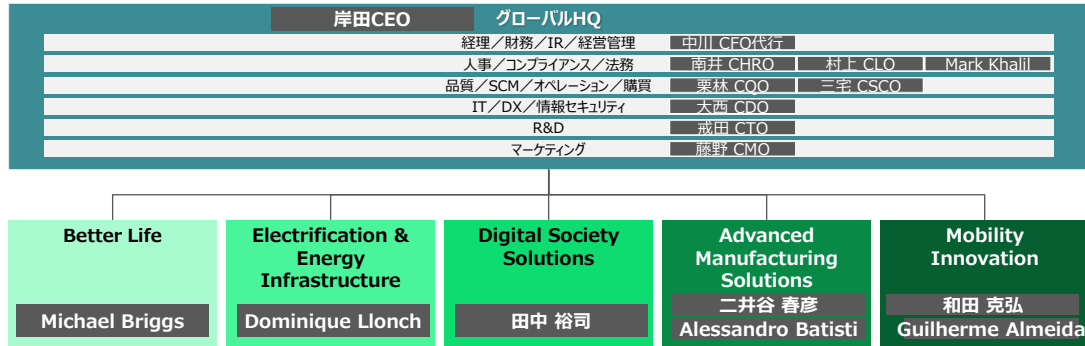


抜本的改革を進め、ROICを向上させることで企業価値を最大化



真のグローバル企業を目指し、コーポレート組織の拡充・強化、5本柱への転換に向けた組織変革を推進

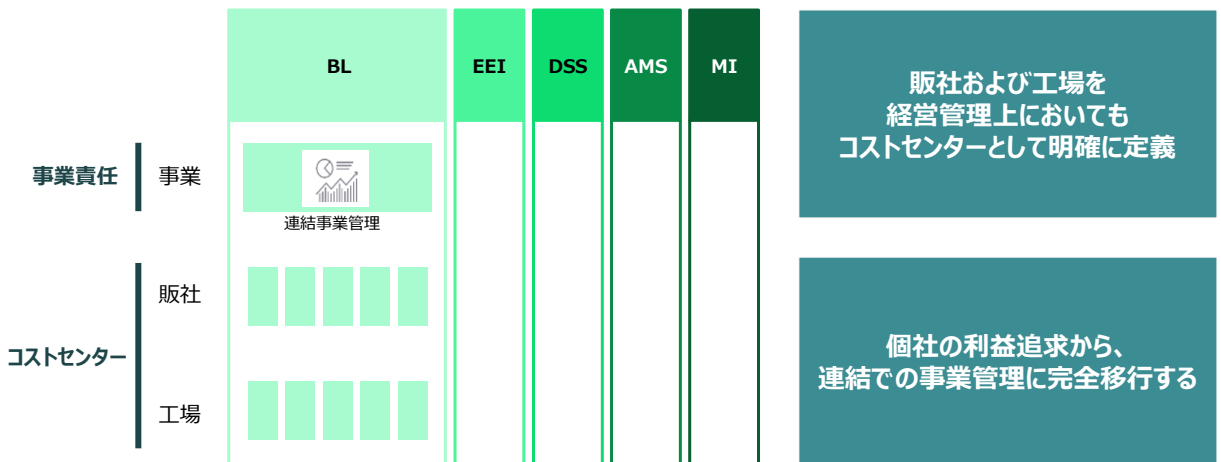
グローバルHQがコンプライアンス、ポートフォリオマネジメント、キャピタルアロケーションなどグローバル全体への強力なガバナンスを担う体制を構築



**5本柱に事業を再編し、各柱で連結事業のアカウントビリティを負う構造へ転換
資本市場に対して、説明責任を果たす体制へ**

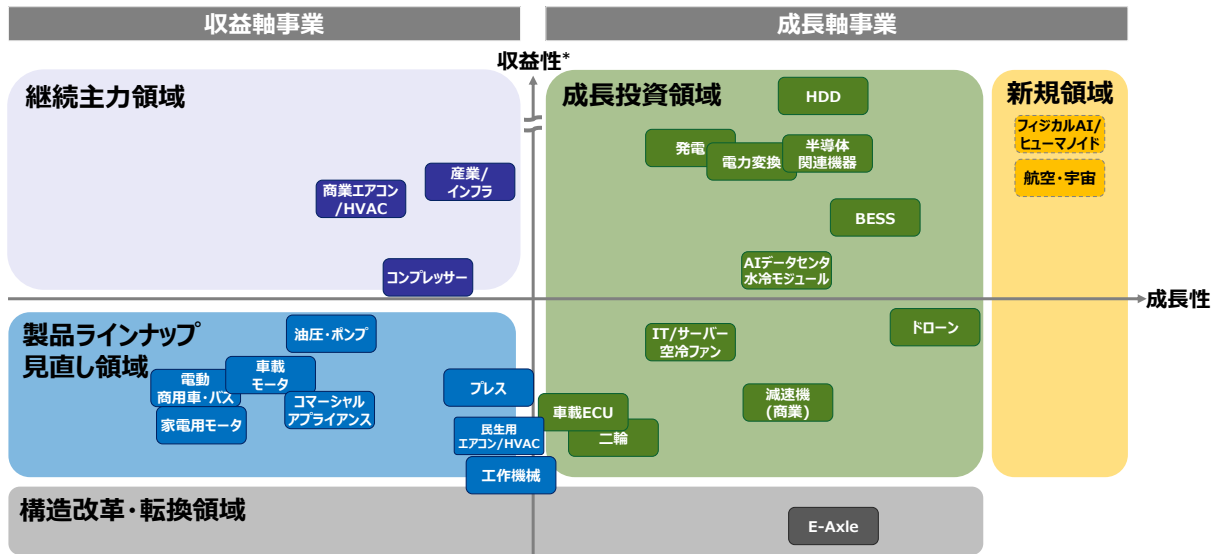
現在法人別に保有している販社や工場などを5本柱に合わせて集約することで、連結での事業管理に移行

5本柱に合わせて事業、販社・工場などの拠点を再編



事業ポートフォリオ（成長性×収益性）

成長性と収益性観点から事業ポートフォリオを見直し、事業の選択と集中を行う



NIDEC CORPORATION

成長投資領域

成長投資領域は市場成長が見込まれ、積極的な投資を推進



製品例

水冷システム/空冷FAN/HDD用: 精密加工技術を基盤としたシール技術と、モータ・ポンプで培った総合技術*を活かし、競争力の高いAIデータセンター向けソリューションを展開

空調/チラー/冷却塔用モータ: 高効率なシステム制御や電力整流化技術を活かしたエネルギー貯蔵システム(BESS)、及び、高品質・高信頼性の発電用オルタネータ

半導体検査/搬送ロボット: パネル・ウェハ搬送用ロボット、および最先端の半導体検査装置など、AI社会を支える半導体製造のインフラを提供

AIデータセンターやエネルギー、半導体関連等の高収益や市場成長が見込まれる事業領域は、積極的な投資を推進するとともに、ソリューション等新しいビジネスモデルへの展開を図る

* 流量制御、振動・騒音対策、長期耐久性、電力品質等の技術

NIDEC CORPORATION

技術革新や社会変革をチャンスと捉え、高成長市場に新規領域を設定

新規領域

これまでの取り組み

ドローン・航空



モータ部品の防水・防塵性能の高度化と、モータ・制御技術を一体化した「モジュール化」を推進



Embraer子会社であるEVEとのJVを通じたeVTOL用モータの量産化に向けた開発が進行中

減速機・精密工作機械



サブミクロンレベルの精密加工技術を保有



小～中型の減速機をリリースし、ロボット領域に必要な減速機を提供

新たな取り組み

フィジカルAI/
ヒューマノイド



航空・宇宙



現有の自社開発技術を基盤として、今後の成長が見込まれる新たな分野への事業展開

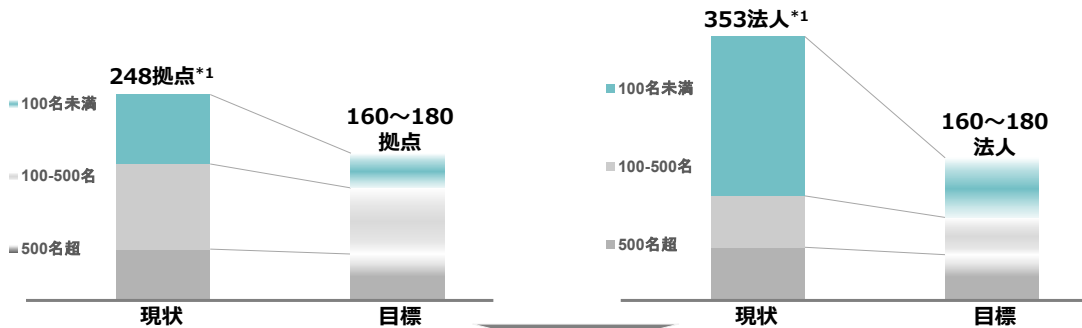
5本柱を軸とした事業の再編、事業ポートフォリオの見直しを踏まえて、全社的な構造改革を実行

①生産事業所最適化

- ・ 小規模事業所の統廃合
- ・ 大規模・中規模事業所の生産性向上

②法人統廃合

- ・ 法人数の半減
- ・ 再編による間接業務効率化



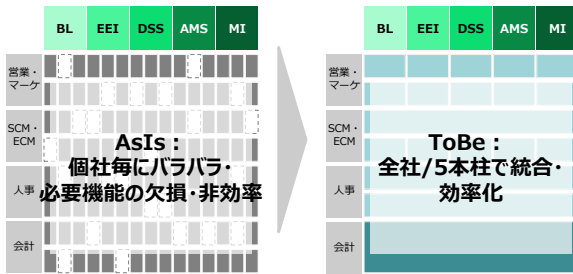
ガバナンス強化
固定費削減・ROIC向上

*1 2026年3月時点

全社IT基盤改革

グループIT基盤刷新と全社共通エンジニアリングPF導入により、正しい経営の基盤構築と業務効率化を同時に実現

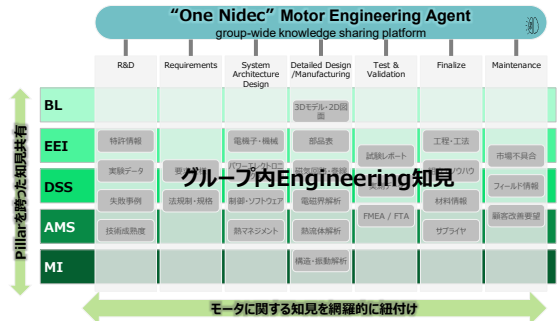
IT基盤刷新



改革の前提となる、内部統制強化と経営情報可視化の具現化

5年累計1,000億円のIT投資を行い、正しい経営を支える強固な基盤を構築し、業務効率を大幅に改善

全社共通エンジニアリングPF導入



モータに関する知見を網羅的に紐付け

5年累計300億円の戦略投資を行い、モノづくりを支える基盤を構築

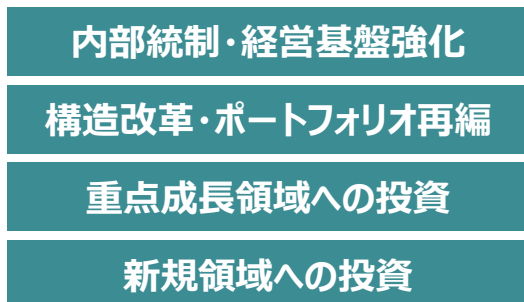
キャピタルアロケーション

財務健全性・必要投資との両立を前提に、長期・安定的な株主還元を実現

- 過年度決算訂正の完了後、早期に復配



- 企業価値向上に向けて、中長期成長を支える戦略投資を継続



※具体的な取り組みを進め、今後ご報告します

Re-Definition 宣言

- 再生の過程で発覚した品質に関する疑義も含め、ニデックが抱える問題を徹底的に洗い出し、再生に必要な抜本的な改善を遂行することで、会計、品質、ガバナンス、企業風土などすべてにおいて、当社グループを信頼いただける会社に再生します
- 正しい経営の再構築を起点として、今回の経営改革方針に基づき企業価値向上のための改革を断行し、高収益構造への転換と真のグローバル企業への変革を実現します

本当の第二創業へ。 **Nidec**

32

Nidec

33